

平成19年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	理容美容専門学校が主催する「人を美しくする仕事」体験講座		
法人名	学校法人 国際共立学園		
学校名 ((2) の み)	国際理容美容専門学校		
代表者	理事長 中村 文雄	担当者 連絡先	丹野 智 TEL 03-5850-7201
<p>1. 事業の概要</p> <p>若年者に対するキャリア教育・職業教育や多様な機会の充実に資するとともに、専修学校の特色である実践的な技術教育を通して高校生及び中学生の職業意識の涵養を図り、職業理解を深めるための一助とするべく、理容美容専門学校主催の「職業体験講座」を開催する。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>本校有する、現場に近い環境である実習室を利用し、ヘア・エステサロンと仮定しての体験実習を行うことができた。あわせて、本校教職員の現場での実体験を語ることにより、理・美容業界の仕事における、やりがいや楽しさ、その裏に隠されている苦労などを伝えることができた。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>第1回～3回は東京都・千葉・埼玉県の高専21校の協力により高校生に対し、第4回においては荒川・台東・足立区中学校5校の協力により中学生に対して職業体験講座を実施した。全4回の開催を通して、高校生70名、中学生10名の参加があった。</p> <p>講座内容に関しては、より現場の実情を踏まえたものにする為、ヘア・エステティックサロンで実際に行われているサロンワークを中心に展開し、参加者に複数の選択肢を提供することができた。それにより、理・美容業界の職場では、掃除・洗濯、接客における周囲の人に対する気配りなど、技術だけが重要視されるのではないという事を受講者に認識させることができた。</p> <p>また、講座受講前と後とでアンケートを行い、職業への理解度、働くことに対する意識の向上などの変化を確認することができた。</p> <p>③今後の活用</p> <p>今回のアンケート調査で得た回答を元に、講座の内容を再検討し、受講者のニーズに合った内容を考え、さらに充実した職業体験講座を開催できるよう取り組んでいく。</p> <p>④次年度以降における課題・展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月に各高校へ講座参加を促す書類を郵送し、順調に動員を重ねていったが、月を追うごとに減少していった。再度、12月末に第1・2回の実施報告とともに開催告知を行い、多少ではあるが、第3回の動員は持ち返すことができた。来年度は、告知方法・時期などを再検討していきたい。 ・現在、理・美容業界では離職率の高さが、問題視されている。したがって、参加した生徒の様子やアンケート結果などをとりまとめた「実施報告書」を作成し、各参加校に持参することで、教員の職業理解も深めたいと考える。 			

3. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座、講演会の実施

開催場所:学校法人 国際共立学園 国際理容美容専門学校

開催時間:13:00~16:00

講座内容:1)開・閉講式 受講前・後に理解度を測ることを目的としたアンケートの実施
2)職業講話 ・職業・職種の理解(理容師・美容師・エステティシャン)
・それぞれの体験談から職業意識の高揚を図る
3)体験実習 ・開店前から閉店後までのサロンワークの体験を通して仕事に必要な
「適正」や「能力」などの理解を深める
・「接客」「実習」の両側面から “やりがい” や “楽しさ” “人間関係” など
職業観・勤労観を涵養する

【高校1,2年生対象】

第1回 平成19年11月24日(土) 参加校14校 参加者34名

職業講話:理容師による「理容という職業について」の講話

体験実習:エステティック技術(フェイシャル)・ヘア・カットイング

第2回 平成19年12月1日(土) 参加校8校 参加者13名

職業講話:エステティシャンによる「エステティックという職業について」の講話

体験実習:ヘッドマッサージ・エステティック技術(ハンドケア)

第3回 平成20年1月19日(土) 参加校12校 参加者23名

職業講話:美容師による「美容という職業について」の講話

体験実習:エステティック技術(ボディ)・顔剃り

【中学1~3年生対象】

平成20年2月9日(土) 参加校5校 参加者10名

職業講話:エステティシャンによる「エステティックという職業について」の講話

体験実習:パーマ技術(ワインディング)・エステティック技術(フェイシャル)

②その他

・本講座の目的、受講する心構えなどを記載したプリントを作成し、受講者の参加意欲を高める為、講座開始前の待ち時間に配布した。

・サロンスタッフとしての実感を持たせるため、全員に白衣を着用させた。

・講座に参加した証として、終了後、各個人に「修了証」を配布した。